

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	忘却	衝動	殺戮	初期侵食率	39 %
出自	兄弟	経験	面影島事件	邂逅	運命

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	3	0	0			3	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ブレインブレイド	白兵	8r+1	2	8		コンソと組み合わせ時のみ使用可、ダイス+4
100↓	白兵	8r+1	2	33		ダメ+2D
100↑	白兵	8r+1	2	33		ダメ+5D

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
リサーチャズジャケット		5	-2		〈知覚〉 〈知識:〜〉 達成値+3

所持品	
ウェポンケース	
メモリー：小鳥遊小夜	
強化素材	

合計装甲： 5    合計回避： -2

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス	消費
対抗種	P 有為	N 脅威		
霜月歩	P 友情	N 劣等感		
桐生零	P 憧憬	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー					
効果： C値-lv(下限7)								
コントロールソート	1	2	メジャー					
効果： 〈白兵〉【精神】代替								
神機妙算	1	3	メジャー				80	
効果： 範囲化。シーンlv回。								
バックスタブ	5	-	常時					
効果： 縮地したメインプロセスの攻撃力+[lv*5]								
縮地	5	2	オート					
効果： 移動時にシーン内どこにでも移動可。シナリオlv回								
フェイタルヒット	2	4	オート				100%	
効果： ダメージ+[lv]D。ラウンド1回。								
真相告白	1							
効果：								
猫の道	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

なぜだかわからないけど、そういうものだからそうなのだと、飲み込んでいることは誰もそれなりにあるだろう。例えば1+1が2になる理由だったり、地球が丸い事実だったり、だ。

そいつとの奇妙な関係は、俺にとってはそういうもの一つだ。そいつは粉れもなく敵だったが、ある意味で、下手な味方よりも信頼のおける奴だった。出会えば10回の内9回は殺し合いをする関係だが、奇妙な偶然が重なれば共闘することもあった。例えば、任務の内容一暴走する元FHエージェントの鎮圧一がたまたま被ったときだったり、殺し合い中に謎のジャームに襲われたときだったり。あとは、単純な共闘だけでなく、任務のために互いの所属組織にバレないよう情報を交換し合ったときもあった。倒すべき敵であることは疑いようがなく、利害が対立するときには容赦なく殺し合いもする。だが、協力する、と決まったときには不思議と息は合った。

これは全てが終わった後一つつまり、そいつにまつわる最期の事件が全て終わった後一つ、気付いたことではあるが、要するに俺達は似た者同士だったんだらう。UGNとFH、対立する組織に属する、鏡合わせのようなものだ。多分俺がUGNでなくFHに拾われていたらそいつになっていたし、そいつがFHでなくUGNに同調していたら俺になっていたのだ。

そいつの名は、ナイチンゲール。幾たびも殺し合いを演じた、信頼に足る仇敵。そして、一つこれあとから気づくことになるのだが一つ、俺にとっておそらく人生で最初の、友人だ。

-----

UGNチルドレン高校2年生。「任務を遂行するただの一振りの刃」を自認する、とってもとつぎづらい、あまり心開かないタイプの典型的なUGNチルドレン……だった。かつては。